

## NPO法人日本消化器がん検診精度管理評価機構

### 平成26年度春期理事会議事録

1. 日時：平成26年4月26日(土曜日) 12:00～12:50
2. 場所：香川県社会福祉総合センター7階会議室
3. 出席者数：理事総数70名中49名参加、そのうち会議出席22名、書面表決27名

会議出席理事22名、議決権行使書による表決者27名、計49名の参加者があり、過半数35名を上回るため、定款第34条により本春期理事会における審議は成立することが事務局水谷勝理事より宣言された。次いで、定款第34条により本理事会の議長は馬場保昌理事長が指名された。また、議事録署名人には中原慶太理事、藤照正理事が推挙され全会一致で承認された。引き続き馬場議長が開会を宣言した。

本議事録には、議事の進行に沿って第1号議案、第2号議案、第3号議案、第4号議案と審議結果、および追加審議案件と審議結果を順に記した。なお、初出を除いて発言者氏名は略した。

## 第I部

### 審議案件

#### 1 第1号議案：平成26年度事業計画・予算案の件(表1)

まず、入口陽介広報編集委員会委員長より説明があった。ホームページ・ポスター・電子メールを通じて事業を広報すること、協賛企業に年間12万円の企業広告ホームページ掲載料を募ることを説明、今後はホームページの充実を図って行くことを報告した。

次に、八巻悟郎胃X線精度管理研究委員会委員長より本日の学術集会と、11月29日に東京で第22回学術集会を開催する計画が説明された。

そして、工藤泰教育・研修委員会副委員長より説明があった。明日に高松で、11月30日に東京で基準撮影法とレベルアップ講習会を開催すること、9～10月頃に東北と関東甲信越で基準撮影法講習会を開催すること、全国7会場で胃がんX線検診読影講習会を開催すること、9月に大分で消化管関連4団体合同学術集会を開催することが説明された。

次に、剛崎寛徳X線検診精度管理・評価委員会委員長より説明があった。9月7日に平成26年度胃がんX線検診技術部門B資格検定試験を開催すること、11月9日に平成26年度胃がんX線検診読影部門B資格検定試験を開催すること、来年2月に胃がんX線検診指導員任命試験を開催すること、来年2月頃に胃がんX線検診技術部門A資格検定模擬試験を開催すること、胃がんX線検診基準撮影法ビデオ作成事業を行うこと、作業部会によって胃がんX線検診読影基準作成に関する事業を行うことが報告された。

そして、中原支部運営委員会委員長より、技能検定試験官候補者らに対する講習会・研修会を支部単位で開催すること、支部単位の技術部門講習会を行う計画であることが説明された。

最後に、平成26年度事業予算案について財務委員会鶴田恭央理事より説明があった。今年度は赤字予算となっているが、その要因は理事会出席に際して理事長・副理事長・事務局長・副事務局長・監事の旅費・交通費を運営委員会が負担するようにしたこと、また前回の理事会で決算の会計書類に不備が見られたため本年度からは公認会計士と契約し会計書類のチェックをするようにしたことを挙げた。繰越金を使用することになる旨について説明があった(表2)。

続いて質疑応答に移り、高橋伸之理事より胃がんX線検診技術部門A資格検定模擬試験は指導員を対象に行うとのことだが、不合格となった場合の扱いはどうなるのかと質問があった。剛崎理事よりまだ具体的に決まっておらず、模擬試験結果をもって試験のあり方を検討すると

の回答があった。

審議に入り、出席理事22票、議決権行使書27票の賛成により本案は可決された。

表1 NPO法人日本消化器がん検診精度管理評価機構 平成26年度下部組織委員会別事業計画

委員会名称	事業内容	場所・会場
1 運営委員会	各下部組織委員会が所管する事業を調整・統括し円滑な法人運営を行う。	
2 財務委員会	経理業務を整備し、当法人の財政基盤の安定化をはかる。 財務委員会会議(年4回)	
3 広報・編集委員会	ホームページ・メール配信・ポスターなどを用いて精度向上に必要な知識と情報の普及をはかる。ホームページに協賛広告を掲載する。	
4 胃X線精度管理研究委員会	学術集会を年2回開催し、胃X線専門医および専門技師の育成をはかる。 1) 第21回学術集会 26年4月26日 2) 第22回学術集会 26年11月29日	(高松) (東京)
5 教育・研修委員会	胃X線検査に関する講習会・研修会を開催する。 1) 基準撮影法とレベルアップ講習会 26年4月27日・11月30日 2) 基準撮影法講習会 26年9月頃・10月頃 3) 胃X線検診読影講習会 4) 消化管関連4団体合同学術集会 26年9月	(高松・東京) (東北・関東) (全国7会場) (大分)
6 X線検診精度管理・評価委員会	技術部門および読影部門検定事業を行う。 1) 胃がんX線検診技術部門B資格検定試験 26年9月7日 2) 胃がんX線検診読影部門B資格検定試験 26年11月9日 3) 胃がんX線検診指導員任命試験 27年2月頃 4) 技術A模擬検定試験 27年2月頃 5) 胃がんX線検診基準撮影法ビデオ制作事業 6) 胃がんX線検診読影基準作成に関する事業	(全国7会場) (全国7会場)
7 支部運営委員会	技能検定試験官候補者らに対する講習会・研修会を支部単位で開催する。 (支部単位)技術部門講習会	(全国)

表2 NPO法人日本消化器がん検診精度管理評価機構 平成26年度予算案(暫定)

26年度 予算案	収入	支出	収支
X線検診精度管理・評価委員会	14,500,000	16,964,000	-2,464,000
1.技術B検定 試験に関する事業			
① 26年度技術部門B資格検定試験 事業	6,650,000	4,590,000	2,060,000
② 26年度技術Bソフトコピー画像技能検定会議	0	360,000	-360,000
③ 26年度技術B検定 試験候補者講習会	0	2,400,000	-2,400,000
④ 26年度技術B検定 問題作成会議	0	65,000	-65,000
⑤ 26年度技術B検定 合否判定会議	0	20,000	-20,000
2.読影B検定 試験に関する事業			
⑥ 26年度 読影B検定 試験実施(4会場予定)	6,300,000	3,180,000	3,120,000
⑦ 26年度 読影B検定 問題作成会議	0	45,000	-45,000
⑧ 26年度読影B検定 合否判定会議	0	30,000	-30,000
3.指導員任命試験に関する事業			
⑨ 26年度指導員任命 試験 実施	150,000	670,000	-520,000
⑩ 26年度指導員任命 問題作成会議	0	45,000	-45,000
⑪ 26年度指導員任命 合否判定会議	0	30,000	-30,000
4.技術A検定 試験に関する事業			
⑫ 26年度技術A検定 試験 実施(2会場予定)	1,400,000	830,000	570,000
⑬ 26年度技術A検定 問題作成会議	0	65,000	-65,000
⑭ 26年度技術A検定 合否判定会議	0	30,000	-30,000
5. ⑮検定試験実施委員会(技術、読影)	0	1,710,000	-1,710,000
6. ⑯胃がんX線検診基準撮影法 ビデオ作成事業	0	1,564,000	-1,564,000
7. ⑰胃がんX線検診読影基準作成に関する事業	0	810,000	-810,000
7. ⑱26年度 精度管理・評価委員会会議	0	520,000	-520,000
教育研修委員会	765,000	1,460,380	-695,380
⑱ 講習会 読影×2、7支部	675,000	1,106,340	-431,340
⑲ 21回レベルアップ講習会	90,000	194,040	-104,040
⑳ 日放技師会 学術集会	0	160,000	-160,000
支部運営委員会	0	2,912,000	-2,912,000
㉑ 7支部活動費	0	2,800,000	-2,800,000
㉒ 交通費	0	112,000	-112,000
広報・編集委員会	360,000	900,000	-540,000
㉓ ホームページ運営事業			
更新費用	0	850,000	-850,000
広告協賛	360,000		360,000
㉔ ポスター広報事業	0	50,000	-50,000

胃X線精度管理研究委員会	4,500,000	4,300,000	200,000
⑳ 学術集会 21回・22回	4,500,000	4,300,000	200,000
財務委員会	0	50,000	-50,000
㉑ 財務委員会会議		50,000	-50,000
運営委員会	0	961,360	-961,360
㉒ 理事会開催に関する事業	0	761,360	-761,360
㉓ 運営委員会会議	0	200,000	-200,000
本部事務局	28,478,213	3,576,000	24,902,213
㉔ 会員組織事業	2,860,000	3,576,000	-716,000
理事会費	710,000	0	710,000
一般会員	1,800,000	0	1,800,000
会費(未収金予測)		600,000	-600,000
新入会員	350,000	0	350,000
欠損金処理(3年未納者脱会者)		216,000	-216,000
人件費		1,500,000	-1,500,000
備品雑費		50,000	-50,000
登録処理(行政書士)		300,000	-300,000
会計処理料(会計士顧問・決算・消費税支払)		910,000	-910,000
㉕ 繰越金(25年度)【未確定】	25,618,213	0	25,618,213
X線検診精度管理・評価委員会	18,000,000	0	18,000,000
教育研修委員会事業	1,523,527	0	1,523,527
支部運営委員会	3,000,000	0	3,000,000
広報・編集委員会	551,554	0	551,554
胃X線精度管理研究委員会	1,733,195	0	1,733,195
本部事務局(運営委員会含む)	809,937	0	809,937
総事業費 ①～㉕	48,603,213	31,123,740	17,479,473

## 2 第2号議案：旅費規程の改正の件

杉野吉則運営委員会委員長より説明があった。これまで日当に関する明確な規程が無かったが、公認会計士と相談した結果、旅費の中に日当を含める形を取った。旅費規程の改定案を起案したので審議をお願いしたいと発言した。(表3)

続いて質疑応答に移り、馬場議長より源泉徴収の必要は無いのかと質問があり、杉野理事より源泉徴収は不要であるとの回答があった。

審議に入り、出席理事22票、議決権行使書26票の賛成により本案は可決された。

## 3 第3号議案：東北支部医師代表候補の件

水谷事務局長が説明した。これまで東北支部の医師代表が不在の状態が続いていたが、このほど宮城県対がん協会の加藤勝章医師を推挙する案が運営委員会で起案されたので審議をお願いしたいと発言した。

審議に入り、出席理事22票、議決権行使書27票の賛成により本案は可決された。出席理事からの質問はなかった。

#### 4 第4号議案：胃X線精度管理研究委員会学術集会参加費改訂の件

八巻胃X線精度管理評価委員会委員長が説明した。これまで学術集会の参加費は東京開催時会員2000円、非会員3000円、地方開催時会員3000円、非会員4000円であったが、会費が高額であるとの意見、あるいは会員と非会員の差額が1000円では少ないとの指摘を受け、開催地にかかわらず会員1000円、非会員3000円とする改定案を起案したので審議をお願いしたいと発言した。

続いて質疑応答に移り、安保智典理事より参加費は学術集会を運営するために用いるものなので、今回の会費改定で学術集会の運営に影響は出ないのかとの質問があった。

八巻委員長より鶴田副委員長に説明依頼があった。過去の学術集会ではおよそ20～30万の黒字となっており、会費を2000円下げても収支はほぼ釣り合うとシミュレーションしている、会費の引き下げによってさらに多くの会員の方々に参加していただくことを目的とした改訂案であるとの回答があった。高橋理事より収支が赤字になった場合には補填をするのかと質問があり、鶴田理事より補填を行うとの説明があった。

審議に入り、出席理事22票、議決権行使書27票の賛成により本案は可決された。

#### 5 追加審議案件

木村俊雄運営委員会副委員長より、第3号議案で東北支部医師代表への承認を受けた加藤先生に関して、理事に推挙したいとの提案があった。

本件を追加審議案件とする、と馬場議長が判断し、審議の結果、全会一致で本追加審議案件は可決された。

出席理事からの質問はなかった。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成26年5月

議 長	理事長	馬場	保昌
議事録署名人	理事	中原	慶太
	理事	藤	照正